

Word のトラブル対策とテンプレート

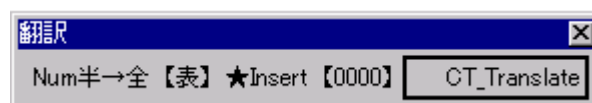
テンプレートの活用

Word には、決まり文句や文書の書式などをテンプレートとして登録する機能があります。このようなテンプレートを使えば、たとえば複数の文書間で書式を統一したり企業内や部署内で同じ形式の文書を作成したりすることができます。文書の作成にテンプレートを利用するときは、[ファイル]メニューの[開く]で[ファイルの種類]を「文書テンプレート(*.dot)」にして必要なテンプレートを開きます。

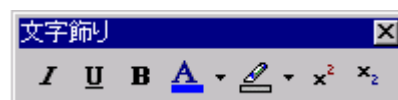
下の図は、Word に付属しているテンプレートを使う場合の例です。適当なフォルダから必要なファイルを開けば、目的に合った決まり文句が入った文書が表示されます。



あるいは、ツールバーの設定やマクロを専用のテンプレートとして登録し、作業内容に合った快適な環境を作ることもできます。たとえば、下の図は「翻訳」というツールバーを作成して CT 方式のマクロをいくつか入れたものです。



もちろん、マクロだけでなく通常のコマンドも使用頻度の高いものを 1 つのツールバーにすることができます。下の図は「文字飾り」というツールバーを作って文字に関するボタンを入れたものです。



このようなツールバーの内容もテンプレートに登録されますから、作業の内容ごとに別々

のテンプレートを用意しておけば、テンプレートを切り替えるだけで画面に余計なツールバーを出さずに快適な作業環境を作ることができます。

トラブル対策

さて、Word には Normal.dot (標準テンプレート) という特別なテンプレートがあります。Normal.dot は、新規文書の作成時に「ひな形」として使われるほか、特に指定しなければツールバーの設定やショートカットキーの割り当てなどの情報を保存しておく場所にも使われます。言葉を変えると、文書の書式や定型句の保持から機能の活用まで、あらゆることを Normal.dot だけでカバーすることが可能だということになります。

ただし、ここで問題になるのが Word のトラブルとセキュリティの問題です。

Word に限らずどのアプリケーションでもそうなのですが、ほんのちょっとした「はずみ」で、それまでうまくいっていたことが急にうまくいなくなったり、あるいは何でもない普通の操作でフリーズやクラッシュが頻発するといったトラブルに見舞われることがあります。

このようなトラブルが生じた場合、Word では Normal.dot を削除すると解決できることがあります。Normal.dot は、削除してしまっても次に Word を立ち上げたときに自動的に新しいものが作成されます。これによって、何かの拍子に不適切な状態になってしまった Normal.dot が綺麗な状態になり、トラブルを解決できることがあるのです。

また、Normal.dot はその性質上、Word に被害を及ぼすコンピュータウイルスの攻撃ターゲットにされることが多いようです。なかには Normal.dot を読み取り専用にして(若干ですが)セキュリティを強化するという人もいるくらい、Normal.dot は Word の核をなしています。このため、Normal.dot にはあまりたくさんの情報を保存せず、万が一のときには削除してもよいようにしておくことが大切です。

文書スタイルやショートカットキー程度であれば、設定内容をどこかに書きとめるかバックアップのテンプレートを作っておけば新しい Normal.dot にその内容を反映させるのは容易ですが、独自にカスタマイズしたツールバーのようなものになってしまうと、元の状態に戻すのは手間と時間を要します。大切なものは専用のテンプレートに登録して、快適な作業環境を上手に整えてもらえればと思います。